

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(1月19日～1月25日)

2019年2月4日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ベラルーシで初のブロックチェーン技術を用いた銀行保証が発行(1/22)
- 2019年の国外展示会への出展計画が決定(1/24)
- ルカシェンコ大統領、廃棄物再加工と再生原料の生産システムを軌道に乗せるべき旨発言(1/25)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

- トラヴニコフ露ノヴォシビルスク州知事との会談(1/24)

大統領は、ノヴォシビルスク州はベラルーシで建設中の原子力発電所の設備の収容な供給元の一つであり、ロシアの学術の中心地でもあると指摘。
(1/24、大統領公式サイト、ベラパン通信)

【内政】

- ルカシェンコ大統領、廃棄物再加工と再生原料の生産システムを軌道に乗せるべき旨発言(1/25)

博士号取得者及び教授職への推薦証受領者との会合に出席した大統領は、廃棄物再加工と再生原料の生産システムを軌道に乗せる必要性を指摘。プラスチックボトルの使用を停止し、ガラス瓶に代替すべきと強調。(1/25、国営ベルタ通信)

【外交】

- ロシアとの査証相互承認に向けた動き(1/22)

マケイ外務大臣はベラルーシ・ロシア両国の査証相互承認に関する協定の署名に向けた動きに関し、技術的な問題が残っているため両国間で話し合いが行われている旨発言。同大臣は、ベラルーシ・ロシア国境における第三国人に対するパスポートコントロールが廃止されることが最も重要である旨強調。

(1/22、ベラパン通信)

- 第1回持続的開発に関する全国フォーラム開催

(1/24)

大統領は、ルイジエンコフ大統領府副長官が代読した挨拶の中で、「国連のアジェンダ 2030 で提示された諸課題は、同アジェンダが採択される遥か以前からベラルーシにおいて国家レベルで提起されてきた。」と指摘。

(1/24、国営ベルタ通信)

経済

【国内経済】

- ベラルーシで初のブロックチェーン技術を用いた銀行保証が発行(1/22)

国立銀行(中央銀行)によると、当該銀行保証の発行対象となった取引は、モスクワ-ミンスク銀行とベラルーシ VTB 銀行が委託者となり、BTA 銀行とベルインヴェスト銀行が保証主体となった。ブロックチェーン技術を用いた銀行保証の利用により、リアルタイムでの保証状況の把握、オペレーション業務に対する労働コストの削減、文書のやり取りの簡略化、保証関連書類の発行プロセスの迅速化が可能となる。

(1/22、国営ベルタ通信)

- モスクワ-ミンスク銀行がドブラブイト銀行に名称変更(1/25)

国立銀行(中央銀行)によると、モスクワ-ミンスク銀行は2018年12月28日の株主総会で名称変更を決定し、2019年1月28日から新名称が有効となる。かつて同行にロシアの株主がいた時代から、サービス内容も規模も変わったことが名称変更の理

由。ドブライト銀行は、前身であるモスクワ-ミンスク銀行のサービスを完全に引継ぎ、顧客は変わらぬサービスを受けられる。ドブライト銀行は国営銀行であり、株主は中央銀行である国立銀行(99.75%)とバリティ銀行(0.25%)。

【対外経済】

●2019 年の国外展示会への出展計画が決定 (1/24)

1月24日付閣僚会議決定第48号によりベラルーシからの出展が決定されたのは、以下の展示会。

上半期は、ナイジェリアのラゴスで開催される農業・畜産・食品・飲料梱包技術に関する国際展示会「アグロフード」、ソウルで開催される「Smart Factory Expo + Automation World」、アルゼンチンのアームストロングで開催される農業・畜産業展示会「AgroActiva」。

下半期は、ケニアのナイロビで開催される食料品・ホテルビジネス・農業の展示会「FoodAgro」、パキスタンのラホールで開催される産業展示会「IEMA」、ジャカルタで開催される「Trade Expo Indonesia」。

さらにベラルーシは、上海で開催される第2回「輸入博」やラトヴィアのリガで開催される「Tech Industry」にも出展する。

また、計画には、ドバイで行われる国際博覧会2020への準備作業も含まれている。

(1/25、ベラパン通信)

●ベラルーシ指導者工場「BelAZ」社の業績発表

同社の2018年の輸出額は前年比30/3%増の9億908万USDとなった。輸出先国は32か国。新たな輸出先として、2018年3月からバングラデシュ、同6月からフィリピンが加わった。

(1/25、ベラパン通信)

【統計・その他】

●Fitch Ratings による格付:B/安定的

国際的な信用格付機関 Fitch Ratings は、ベラル

ーシの長期及び短期ソブリン債の格付尺度を、外貨建て・自国通貨建てともに「B」、見通しを「安定的」と発表。

(1/21、国営ベルタ通信)

●国内の給与データの公表

ベラルーシ統計局の発表によると、2018年11月に1万ベラルーシ・ルーブル(BYN)超の給与を受け取ったのは給与所得者全体の0.1%、全国でおよそ2,600人。

月給が7,000-1万BYNの人は全体の0.2%、以下、5,000-7,000BYNが0.3%、3,000-5,000BYNが1%、2,000-3,000が2.8%、1,500-2,000BYNが5.8%、1,000-1,500BYNが19.3%となっている。

全体の3%の労働者は月給が300BYN以下で、300-400BYNが10.9%、400-500BYNが10.5%、500-600BYNが10.6%、600-800BYNが19.6%、800-1,000BYNが15.9%だった。

(1/22、ベルガゼータ)

(了)